地域のために行う環境美化活動が生徒の自信や誇りにつながる

農林水産大臣賞　　東京都　大田区立大森第六中学校

勝海舟の別邸跡地にある同校。景勝地として知られる洗足池が隣接し、周辺は風致地区に指定されている。そうした恵まれた自然環境を守るべく、自主的に地域の美化活動を行っているのが同校の生徒たちだ。区の教育研究推進校に採択されたのを受けて、環境の指標となるホタルを洗足池に復活させようという研究プロジェクトがスタートしたのが今から 3 年前。部活動のひとつである自然科学部メンバーが中心となって、池の水質・土壌調査を実施しながら、校内でホタルの幼虫を育てている。

また、授業前の朝 20 分間、約 120 名の生徒が率先して池周辺の清掃を実施。地域団体「洗足風致協会」の守屋信宏事務長は、「**落ち葉の時期は毎日清掃する光景が見られるなど、『自分たちが住む地域は自分たちで守る』という心構えが育っている**」と温かく見守る。奉仕活動を続けることで生徒の中に生まれた団結力は、「農援隊」という新たな活動に発展した。そのひとつが、落ち葉から腐葉土を作る「ミミズコンポスト」。腐葉土はグリーンカーテンのゴーヤ栽培などで使用する。さらに、学区内の大岡山駅前で地元商店街や区役所と協働で芝桜の植樹活動を行ったり、ホタルの復活に向けて池をキレイにしようと空芯菜の栽培にも取り組んだりしている。

こうした一連の取り組みが奏功し、洗足池では放流したホタルの飛翔数が毎年増えている。住民からは「**ホタルの光に感動した**」と感謝の声が届き、生徒たちは地域のために行ってきた活動が実ったことで自信や誇りを持つようになった。その結果、学校全体が明るく落ち着いた雰囲気になり、学力も大幅に向上。美化活動が生徒の自己肯定感を着実に育んでいる。

写真上：自主的に行う洗足池周辺の清掃活動、
写真上から 2 番目：ミミズコンポストの様子、
写真上から 3 番目：大岡山駅前で芝桜を植樹、
写真下：洗足池にホタルを放流する生徒たち

東京都大田区立大森第六中学校
学校長：税所要章（さいしょかなあき）
生徒数：364 名（2012 年 11 月末現在）・全 11 学級
住所：東京都大田区南千束 1-33-1
電話：03-3726-7155
アクセス：徒歩 5 分